

科目名 (科目番号)	理学療法 治療計画論 (062113)	教員名	桐山 希一 縄井 清志 小林 聖美 林 隆司		学科等	理学療法	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1		
			オフィスアワー		月	13:00～16:00 A308(桐山)			
授業概要	理学療法士は患者さんの障害を「どのように評価して治療へと結び付ける」のか。授業では、運動器障害、神経系障害、内部障害、発達障害の四つのそれぞれの領域から、症例を模擬的に(ペーパーペイシエント、模擬患者やVTR症例などとして)提示します。これらの患者さんについての議論や考察をしながら、疾患に対する知識や理学療法士としての知識や技術が治療計画に活かされるまでの過程を体験的に学習して下さい。授業は、例えば「症例の状態像を真似る」「障害を書き出して整理する」「必要となる情報・検査・測定を調べる」「提示された評価結果を整理して意味づける」といった進め方となります。								
準備学習	各障害領域ごとにグループに分かれて議論を進めていきます。症例の概略は授業の初めの時期に提示しますので、グループ学習の開始までに予習をしておいて下さい。 領域によっては未知の学習事項もあると思いますが、授業で解説しますので復習して理解に努めてください。 グループごとの課題については、それぞれの障害領域ごとに各担当教員より指示があります。								
授業計画	回	授業項目	学習内容・到達目標						
	1	理学療法治療計画論 概要	学習目標:「検査と測定」から「評価」へ、さらに「統合と解釈」そして治療計画までの過程を学ぶ。 到達目標:理学療法士の臨床現場における思考過程を理解することが目標となる。						
	2	各テーマごとの学習内容	学習目標:各障害領域ごとに担当教員より、グループで学習する課題のオリエンテーションを行う。 到達目標:次回からのグループ学習の内容を理解することが目標となる。						
	3	グループ学習 第1期	学習内容:障害の特徴を学び、それぞれの障害についての理解を図る。 到達目標:それぞれの疾患についての障害像をイメージできるようになること。						
	4	グループ学習 第1期	〃						
	5	グループ学習 第1期	〃						
	6	グループ学習 第2期	〃						
	7	グループ学習 第2期	〃						
	8	グループ学習 第2期	〃						
	9	グループ学習 第3期	〃						
	10	グループ学習 第3期	〃						
	11	グループ学習 第3期	〃						
	12	グループ学習 第4期	〃						
	13	グループ学習 第4期	〃						
	14	グループ学習 第4期	〃						
15	まとめ	学習目標:治療計画に関する実践的な能力を身につけるために必要となる今後の学習 到達目標:今後の大学生活で学ぶべきことの意義を理解する							
成績評価の方法・基準	授業で扱った内容に関して期末試験を行う。担当教員より各25点配分にて出題され(100点満点)、60点以上を合格とする。								
教科書	理学療法技術ガイド 4版		石川 斉 武富由雄 市橋則明			文光堂			
参考図書	授業のなかで適宜紹介する。								
教員からのメッセージ	予習・復習を行ったうえで理解できない点は、事前に了解をとって担当教員に相談してください。 授業の進行具合によっては内容を変更することがあります。								